

# 蓄電システム診断利用 ネットワーク・アライアンス

## 次世代のバッテリー循環市場を共創する

近年のEV・再エネの普及により蓄電池市場は拡大し続けており、将来これら電池が大量廃棄される時代の到来が予想されています。蓄電池市場の循環経済への移行が待望される中、リユース電池については、評価基準が未整備、安全性・寿命評価の共通認識不足、運用現場と標準化の乖離といった課題が顕在化しています。

そこで、大阪科学技術センターでは、「蓄電システム診断・利用ネットワークアライアンス」を設立しました。本アライアンスでは、蓄電池診断の「提供側」（メーカー、診断事業者）と「利用側」（ユーザー）、行政、研究機関など、多分野の関係者が集うプラットフォームを構築し、診断・評価・活用の新しい共通基盤を築く場を提供します。多様な関係者の参加をお待ちしております。

### 活動概要と主なテーマ(2026年度)

年5回の会合（講演・パネル・見学会）  
分科会によるテーマ別議論（予定）  
交流会（毎回開催）

蓄電池産業戦略・制度動向  
リユース電池の診断と評価  
事故・リスク事例分析  
安全プロトコル・人材育成

### パネルセッションテーマ（予定）

8月	リユース電池の診断内容の深掘りとユーザーニーズの摺合せ
10月	評価・診断サービスとユーザー視点から見た基準（閾値）の議論
11月	発火体感、診断技術、蓄電池製造 見学
12月	安全性の確保と実務プロトコル（法令・現場の環境整備・人材育成）
2月	まとめ

### アライアンスで得られること

- ✓ 国の制度・標準化動向をいち早く把握し、間接的に関与
- ✓ 規格・安全性・寿命評価を“実務レベル”で深掘り
- ✓ 評価・診断基準（閾値）の議論に参画
- ✓ 診断技術の比較・ベンチマーク情報を取得
- ✓ 法令・安全・人材育成を体系的に整理
- ✓ 業界横断ネットワークによる新規事業創出

# アライアンスで提供する価値

## 1 国の制度・標準化動向をいち早く把握し、間接的に関与

- ・経済産業省等がオブザーバー参画
- ・補助金・認証制度・規格（IEC/JIS/JEAC）の最前線情報
- ・標準化プロセスに現場の声を反映

⇒制度に”追従する側”から”影響を与える側”へ

## 2 規格・安全性・寿命評価を“実務レベル”で深掘り

- ・規格策定に関わる専門家と直接議論
- ・実運用に即した解釈・適用方法の共有
- ・現場課題を規格側へフィードバック

⇒机上ではない、現場に使える知見の獲得

## 3 評価・診断基準（閾値）の議論に参画

- ・「どこまでなら安全か」を業界で議論
- ・デファクトスタンダードの形成に参加
- ・ユーザー視点の要求・優先順位を反映

⇒次の市場ルールを共に作る立場へ

## 4 診断技術の比較・ベンチマーク情報を取得

- ・精度・コスト・時間・適用範囲を横断比較
- ・導入判断の客観的材料を入手
- ・最適な技術選定・組み合わせが可能

⇒投資判断の精度を大幅に向上

## 5 法令・安全・人材育成を体系的に整理

- ・規制対応（法令適応）
- ・安全な現場環境構築
- ・実務人材の育成体系

⇒リスクを抑えた事業運営基盤の確立

## 6 業界横断ネットワークによる新規事業創出

- ・ユーザー・メーカー・物流・金融・行政が集結
- ・投資家・保険視点の直接取得
- ・異業種連携による新規プロジェクト創出

⇒単独では生まれないビジネス機会を獲得

## 推進体制・構成

座長	辰巳国昭氏（（一財）電気安全環境研究所 顧問）
副座長	内本喜晴氏（京都大学大学院 人間・環境学研究科 人間・環境学専攻 教授）
オブザーバー	経済産業省、近畿経済産業局、(国研)産業技術総合研究所、(国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構、(独)製品評価技術基盤機構、(地独)大阪産業技術研究所、(一財)電気安全環境研究所、(一財)電力中央研究所、(一財)日本自動車研究所、(一社)電池工業会、(一社)電池サプライチェーン協議会
幹事会員	エナックス(株)、大阪ガス(株)、(株)日新、ヌヴォトン テクノロジージャパン(株)
事務局	(一財)大阪科学技術センター
協力	(公社)関西経済連合会

## 会費・会費区分

- 一般会員：15万円／年
- OSTEC賛助会員：10万円
- 幹事会員：100万円／年
- ※いずれも1社複数名参加可、交流会無料
- ※詳しくは、ウェブサイトをご覧ください

## 申し込み・問い合わせ先

(一財)大阪科学技術センター

技術振興部

denchi@ostec.or.jp

TEL.06-6443-5320

大阪市西区靱本町1-8-4

<https://denchi.ostec.or.jp>

